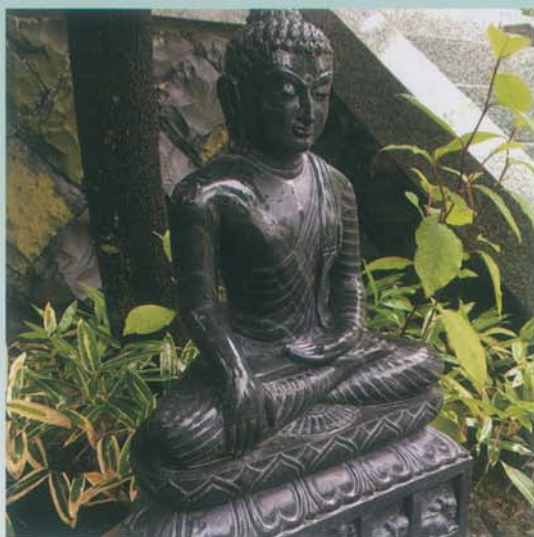


「日々を大切に」

各位におかれましてはご清祥の段、大慶に存じ上げます。また当山護持に関し、格段のご厚情を賜り誠にありがとうございます。本年も東園お盆号発行の時節となりました。先般、東園寺も主催者の一翼を担った「大白隠展」（東北歴史博物館、瑞巖寺宝物館にて開催）が無事終了しました。会期中には花園大学国際禅学研究所顧問芳澤勝弘先生、玄侑宗久師の講演会、ワークシヨップ「禅画を描いてみよう！」などの行事を開催し、多くの方々に法縁を結んで頂くことが出来ました。ここに改めましてご協力を頂いた関係諸氏、そして浄財をお寄せ頂いたご寺院方に感謝を申し上げます。



博多の仙厓和尚がある者に尋ねられました。「和尚さん、世の中には禅宗、浄土宗、天台宗、日蓮宗などたくさんのお宗がありますが、どの宗旨が一番ありがたいでしょうか？」すると仙厓さん「それは羅宗（らしゅう）じゃな。」その者は驚き再び尋ねます。

「私は羅宗などというものは聞いたことがありませんが、どんなお宗旨でしょう？」仙厓さんは答えます。「親は親らしゅう、子は子らしゅう、坊主は坊主らしゅう……。どうじゃ？よか宗旨だろう？」

既成概念や常識を打ち破るのが成長や発展と思ひ込んでいる現代人。ご用心！新しいものを立ち上げるときこそ「らしさ」というものを肚に据えねばなりません。中国の語録にもこんな話があります。

昔、宏智（わんち）禪師という方が修行中のことです。ある僧と禪の話をしていて、宏智は思わず声を上げて笑ってしまいました。その大笑を見て師匠の丹霞子淳（たんかしじゅん）禪師はこれを叱責します。

「君が我を忘れて笑ったその瞬間に多くの大切なことを失ったぞ！わかるか？ 暫時も在らざれば、死人に同じが如し。（しばらくも己というものを失えば死人に等しいぞ！）」

宏智禪師は中国が唐と呼ばれた時代の禅僧。この逸話が載せられる『禅関策進』という書物は明末のもので、同著の筆者、雲棲禪師はこの話に対して、「禪のことを話している時に笑い声を上げると昔から呵責されたものである。今時の俗人の冗談話は腹を抱えて笑い反省も無い。」と嘆いています。

笑いは我々の生活や心を豊かにする大切なものですが、この楽しさに心奪われ、自らを失うことがあっては元も子もないというもの。昨今、耳にする様々な不祥事は、まさに楽しみに心奪われ、自らを失うことから生じたものばかりです。大切な人生、自らをより良く保ち、しくじりの無いようにしたいものです。

墓や仏壇を掃除し、累代の先祖に思いを馳せ、命のバトンタッチの末に自分自身が存在すること感謝する。先祖の供養は自己を見つめ直し、何が自分にとって大切なものかを確認する大切な手段だと思います。お盆の一時大切にお過ごしください。

東園寺住職 千坂成也合掌

お盆の法要日程

○七如来名号開眼法要

八月八日午前十時（午前十一時頃終了）

- ・法要と法話がございます。どなたでも参加出来ます。
- ・軽食を準備しております。
- ・会費三〇〇円

○七如来名号（精霊札）授与

- ・七如来名号（精霊符）は八月八日の開眼法要後より授与申し上げます。

○お墓掃除 八月八日より十二日まで

- ・お盆の期間が始まる前に墓地の清掃を行いましょ。

○お盆期間中の法要

八月十二日 午後六時 精霊迎え法要

- ・蓮華の形をした蠟燭の灯で御霊を迎えます。法要後は参加者各家に蠟燭を差し上げます。（数に限りがありますので、各



家に付き一つとさせて頂きます。）

- ・どなたでもお参りして頂けます。

八月十三日 午前六時～午後五時

- ・例年通り、七如来名号（精霊札）を授与します。

- ・喪中の家以外は赤帯の袋に布施と書いて納めて頂ければ結構かと存じます。

八月十四日 午前十時 新亡供養

- ・新亡の方には改めてご案内を申し上げます。

八月十五日 午前十一時四十五分 平和祈願戦没者供養法要

- ・是非ご参拝ください。予約などは不要です。

八月十六日 午後六時 精霊送り法要

- ・お盆の各自宅にお持ち頂いた七如来名号の総供養です。
- ・お返し頂いた方すべての家名を住職が唱え供養します。
- ・どなたでもお参りして頂けます。
- ・七如来名号は必ず十六日午後六時までに返却して下さい。もし返却出来なかった場合は自宅で焼いて頂くか、後日寺に納めて下さい。

○孟蘭盆会供養塔婆



一体七〇〇円 八月一日より受け付けます

- ・通称花塔婆と呼ばれる孟蘭盆会供養塔婆はご自分の墓地は

もちろん、他家の墓地にお参りした際の供養のおしるしにお供えください。

○お盆のお飾りについて 施餓鬼棚

昔は各家にも仏壇とは別に施餓鬼棚が飾られ、ご先祖様をお迎えしました。施餓鬼棚とは成仏しきれていない餓鬼幽霊の為に、施しをする為に設置されるものです。寺院にて荘厳される施餓鬼棚では、中央に餓鬼飯と呼ばれる大量のご飯を置き、生霊供と呼ばれる生野菜や、海の産物である昆布や寒天が供えられます。在家の施餓鬼棚では菰の上に蓮の葉を敷いてゆでた素麺やご飯が供えられることも多いようです。施餓鬼棚は餓鬼に施すという元来の意義からすれば、外か外に近い縁側等に荘



厳し、餓鬼が太陽を嫌うことから夕方にお供えするものです。しかし、今日は住宅事情等もあり、仏壇の前にお盆のお供物として施餓鬼棚の名残と思われる供物が供えられる場合が多いようです。

元来、施餓鬼の意味からすると、餓鬼飯等のお供えは家の先祖に供えるというよりは、先祖の代わりに功德を積むつもりで、餓鬼道に落ちた

者に供えるものだと思われます。ご自分の先祖だけの冥福を祈るのでは無く、広くすべての御霊の安寧を祈ることが大切なのです。

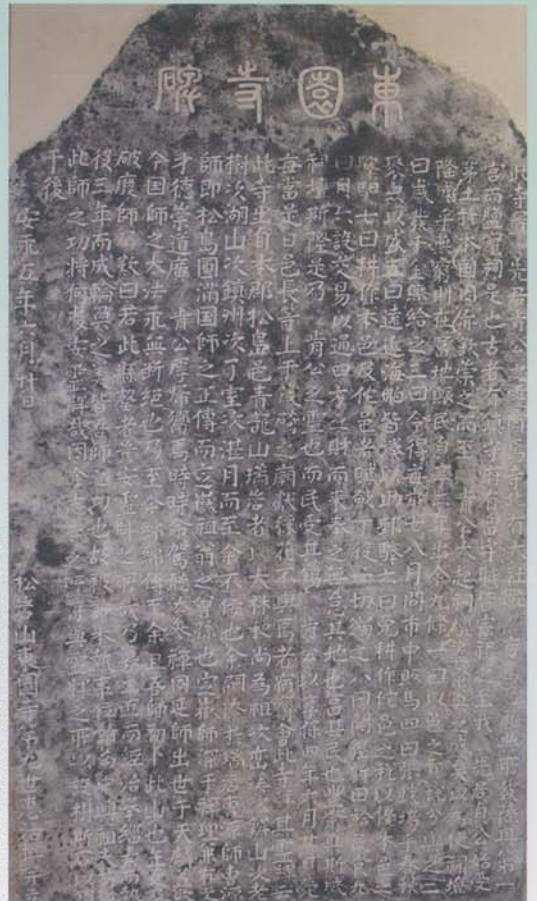
○参拝者用駐車場

東園寺の駐車場は庫裏地下、幼稚園前の他に、海岸通り、幼稚園裏、新墓地にございます。お盆中は満車でご迷惑をおかけしますが、心と時間に余裕をお持ち譲り合いの上、ご利用ください。お墓参りや法要以外での駐車場のご利用はご遠慮ください。

伊達綱村公300年遠諱記念事業



平成二十九年六月二十日は仙台藩四代藩主伊達綱村公の三百年遠諱に相当いたします。綱村公は父綱宗公より、わずか二歳で家督を継ぎ四代藩主となりました。幼少の砌には寛文事件というお家存亡の危機を経て成長されたせいか、綱村公は神仏への崇敬の念篤く、数多くの寺社を支援し、自らも参禅しその蘊奥を極められました。



東園寺之碑拓本（故鈴木双竜氏寄贈）

塩竈にとっては塩竈神社の縁起を顕らかにし、社殿を大改修、さらには御舟入掘の開通で荷揚げが少なくなり疲弊した塩竈に對し、九箇条にわたる御恵みの特令（貞享の特令）を成し下して、塩竈の隆盛に多大な功績を上げられました。有難いことにこの特令は幕末まで、藩によって概ね引き継がれ、塩竈の繁栄を基礎付けたのです。

綱村公が薨去されると塩竈の村民は藩に願ひ出てその位牌を東園寺に安置し、その遺徳を偲びました。また、綱村公の功績は東園寺之碑に刻まれ、現在もその命日前夜には有志を集めて毎歳忌が厳修されています。

この三百年遠諱に際し、東園寺では綱村公の尊像を安置、東園寺之碑拓本の常設レプリカを制作する他、講演会などを通じて綱村公の業績を顕彰して参る所存です。

塩竈は現在、東日本大震災からの復興の途上にあります。このような時期だからこそ、郷土の歴史を振り返り、先徳に感謝して自らの脚下を照らしつつ前進することが必定ではないでしょうか？東園寺檀信徒各位におかれましては、綱村公遠諱関連行事に積極的にご参加頂くと共に、記念事業に対するご協力をお願い申し上げます。

平成28年7月30日

松巖山東園寺住職 千坂成也 合掌

※貞享の特令

伊達藩は藩祖政宗公以来、治水と藩の運営の安定の為、河川の氾濫防止や開墾奨励を行って来ました。この成果が吉田川流域の田園地帯であります。また、藩は米の流通と運搬の為に運河の掘削を始めます。これが今日の貞山運河の始まりです。御舟入掘と呼ばれたこの運河は四代綱村公の時代に開通し、物流が盛んになりましたが、これにより港町塩竈は疲弊し、延いては伊達家が篤く信仰する塩竈神社の護持にも影響を与えました。綱村公は歴代の藩主の中でも特に信仰の深い方でしたので、塩竈神社の門前町である塩竈を救う為、貞享の特令と呼ばれる九箇条を下し、その再興を促したのです。その特令とは塩竈町民に對し金子二百五十両が給付されることや、諸役（租税）が免除されること、商人荷物、海産物、材木などの荷を積んだ船は仙台寮内においてはすべて塩竈に入港すべきことなどの他、見世物芝居の興行や年市の設置を許可するというもので、これにより塩竈は大いに繁栄したのです。

綱村公300年遠諱 記念事業予算

収入

科目	金額	備考
東園寺負担金	6,200,000	
志納金	3,000,000	1口1万円×300口
合計	9,200,000	

支出

科目	金額	備考
木像	2,000,000	綱村公木像
上間改修	2,000,000	本堂内
戸帳	2,000,000	本堂内
東園寺之碑拓本レプリカ	500,000	常設展示の為
記念誌	1,200,000	貞享特令解説、什物図録
記念講演会	500,000	
記念品	1,000,000	協力者
	9,200,000	

お願い

趣意書の通り東園寺では遠諱記念事業を計画しております。この事業に賛同し、綱村公に報恩のお気持ちをお供え頂ける方は、添付の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、志納金と共に寺務所にお届けください。尚、このお願いは決して強制ではありません。あくまで趣旨にご賛同頂けると共に文字通りご



喜捨頂ける方への勧募です。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
ご協力を頂いた方は来年6月19日午後5時より厳修予定の遠諱法要にご案内申し上げます。他、ご芳名を本堂内に掲示致します。諸準備の都合上、お申し込み締め切りを平成29年5月5日と致します。

申し込み用紙

綱村公300年遠諱記念事業の趣旨に賛同し、下記金額を奉納します。

ご芳名

ご住所

お申し込み口数 一口壹万円×()口＝



・ 4月15日花まつりのタベ
大白隠展前夜祭



・ 5月1日大回向・秀峰和尚50回忌、
精道和尚23回忌



・ 3月11日東日本大震災毎歳忌



・ 5月8日ワークショップ「禅画を描いてみよう！」



・ 6月19日塩釜港開港恩人伊達綱村公毎歳忌

平成28年度 地藏流し法要 ～法要と法話会～

法話 山形県最上郡最上町
松林寺住職 三部 義道師

演題 『命のつかいかた』

日時 平成28年9月1日(木)
午前11時 法要(開場 10時30分)

場所 塩釜壺番館5階遊ホール

会費 2000円(8月20日締切)
寺務所にお申込下さい。

永代供養塔は安価で安心な東園寺釋子塔へ

「墓地の継承者がいない。」「子供は遠隔地で家庭を持った。」諸般の事情から家庭の墓地を所有されない方が増えています。東園寺の釋子塔はそんな方々の為の永代供養墓です。納骨永代供養は一霊につき十万円のみ。詳細は寺務所にご相談ください。



境内墓地もございます。永代使用料30万円より。ただ今、境内近くの墓地に空きが出来ました。